

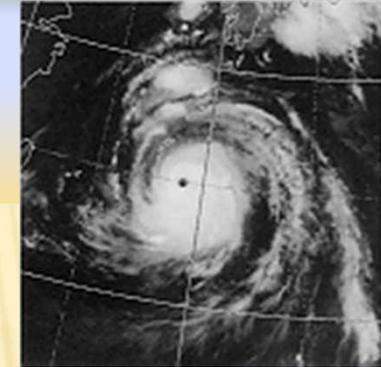
台風のおはなし

平成○●年□月△日 ▲◇小学校



鳥取地方気象台

台風ってなに？



- 日本の南の暖かい海で発生する低気圧を「**熱帯低気圧**」と呼び、中心付近の最大風速がおよそ17m/s以上になったものを「**台風**」と呼んでいます。
- 発生する場所で名前が違います。

北西太平洋や南シナ海

東太平洋や大西洋



南太平洋やインド洋

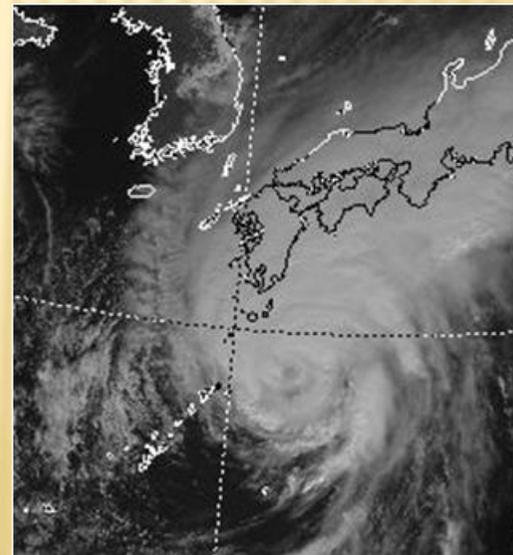
台風の特徴

・台風は巨大な空気の渦巻きで、中心に向かって反時計回りに強い風が吹きこんでいます。

・台風は、ひじょうに発達した雨雲（積乱雲）が渦を巻くように取り巻いているため、広い範囲に大雨を降らせます。

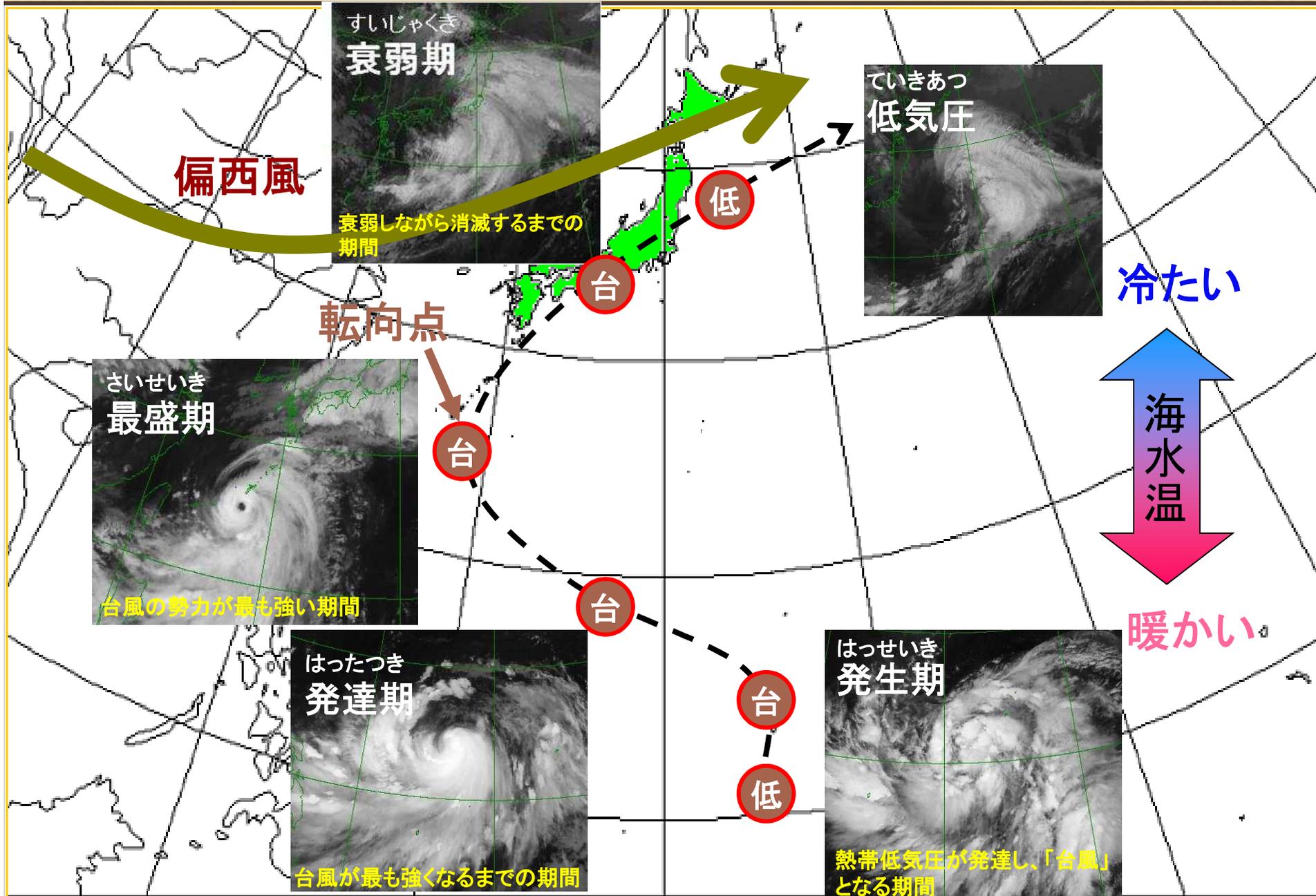


台風の風向き



気象衛星からみた台風の雲

台風的一生

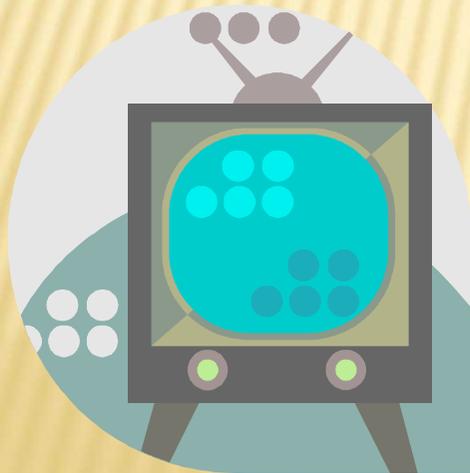


大型で強い台風ってなに？

テレビ・ラジオ・新聞などで、

「（大型）で（強い）台風第〇号は・・・」という表現があります。

気象庁では、風の強さと、強い風の吹いている範囲を組み合わせ、その台風の勢力を表現します。



台風の大きさの分類

台風の大きさは、風速15メートルの半径の大きさで決めています。
大きい台風ほど広い範囲に影響があります。



表現	風速15メートル以上の半径
(表現無し)	500 km未満
大型 (大きい)	500 km以上800 km未満
超大型 (非常に大きい)	800 km以上

台風の強さの分類

台風の最大風速は毎秒〇〇_{メートル}を用い、その風速で強さを表します。
風速40_{メートル}＝プロ野球の投手が投げる直球の速さ(時速144^{キロ})。

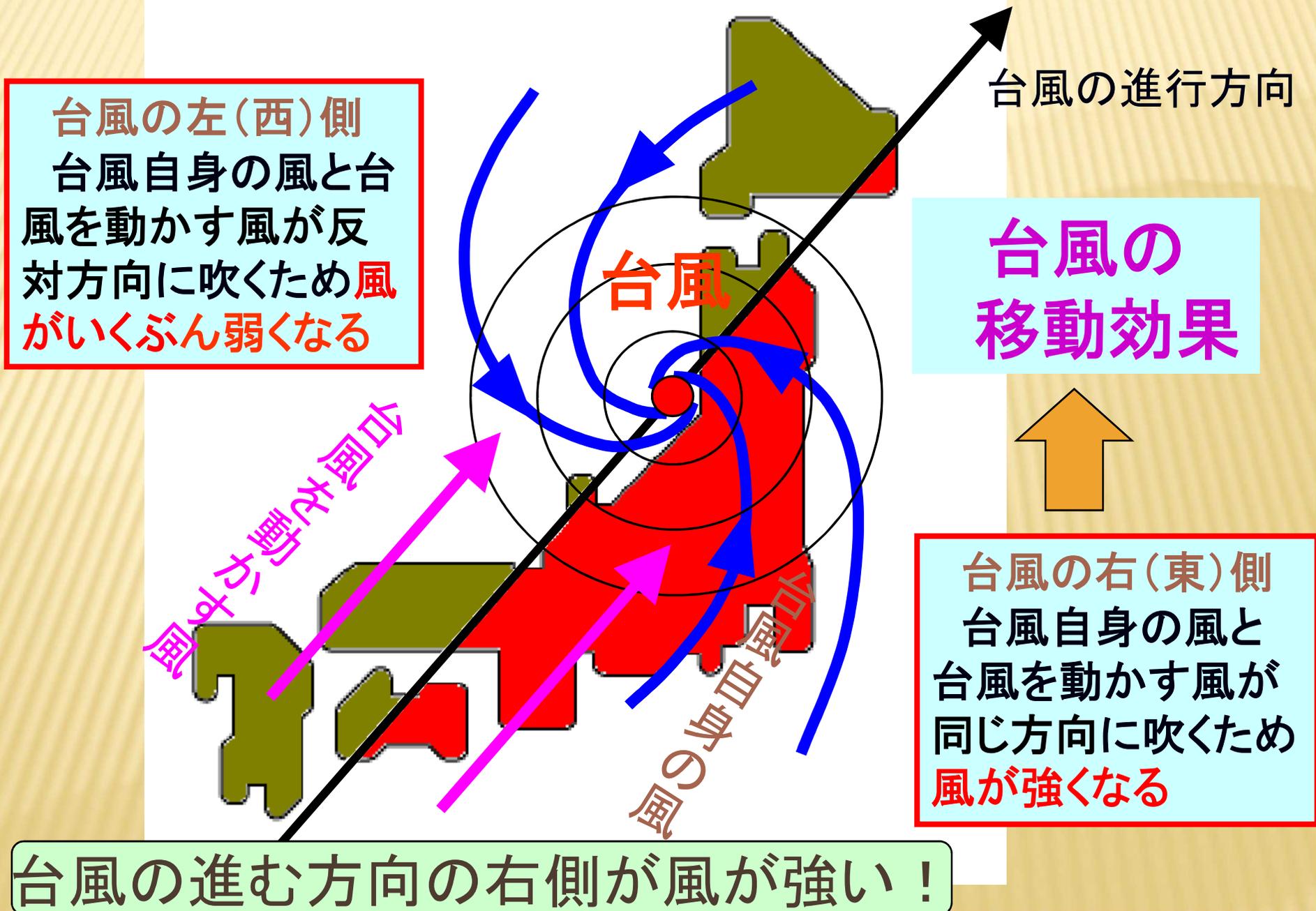


表現	最大風速
(表現無し)	風速33メートル未満
強い	風速33メートル以上44メートル未満
非常に強い	風速44メートル以上54メートル未満
猛烈な	風速54メートル以上

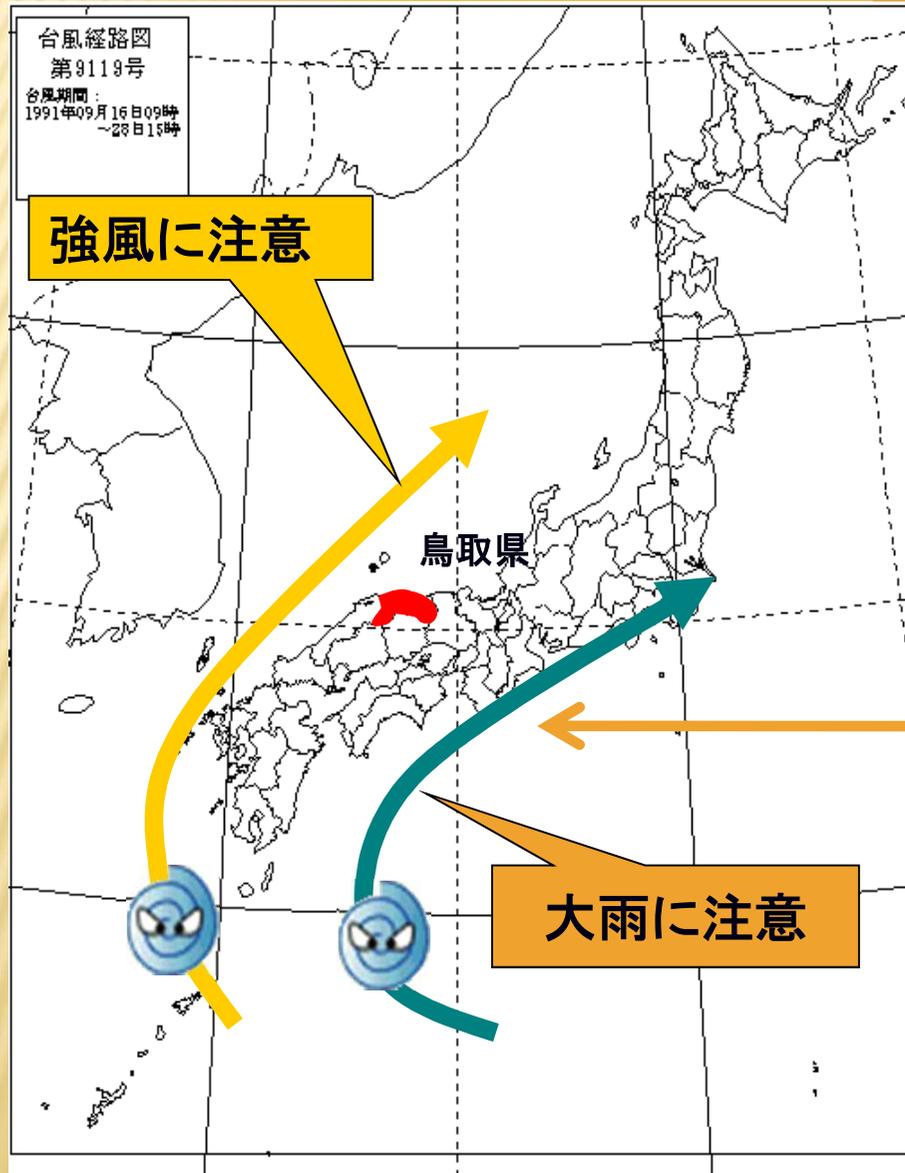
風速が15メートルを超えると、風に向かって歩けなくなり、25メートルを超えると立っていることもできなくなる。また、外に出るのも危険になります。

台風の番号は1月1日から発生した順番です。

台風が進む方向と風の強さ



台風による鳥取県への影響



台風の進路により、鳥取県への影響が変わります。
過去の例から見て…
日本海側を通る 強風に注意
太平洋側を通る 大雨に注意

平成23年台風第2号
(5月29日～5月30日)
県内で大雨を降らせ、5月としては記録的な大雨となった。
1日の雨量：鹿野で182ミリ、佐治で137ミリ、岩井で126.5ミリを観測
(5月の記録としては1位)

台風による被害

風と高潮による被害(沖縄県宮古島 台風0314号)

写真は石垣島地方気象台HPから転載



電信柱の倒伏



体育館の屋根



陸に乗り上げた船舶

雨による被害(兵庫県豊岡市 台風0423号)

写真は豊岡市HPから転載



台風がもたらすもの（恵み）

▼早明浦ダム貯水率0% (9月5日)



▲早明浦ダム貯水率100% (9月7日)

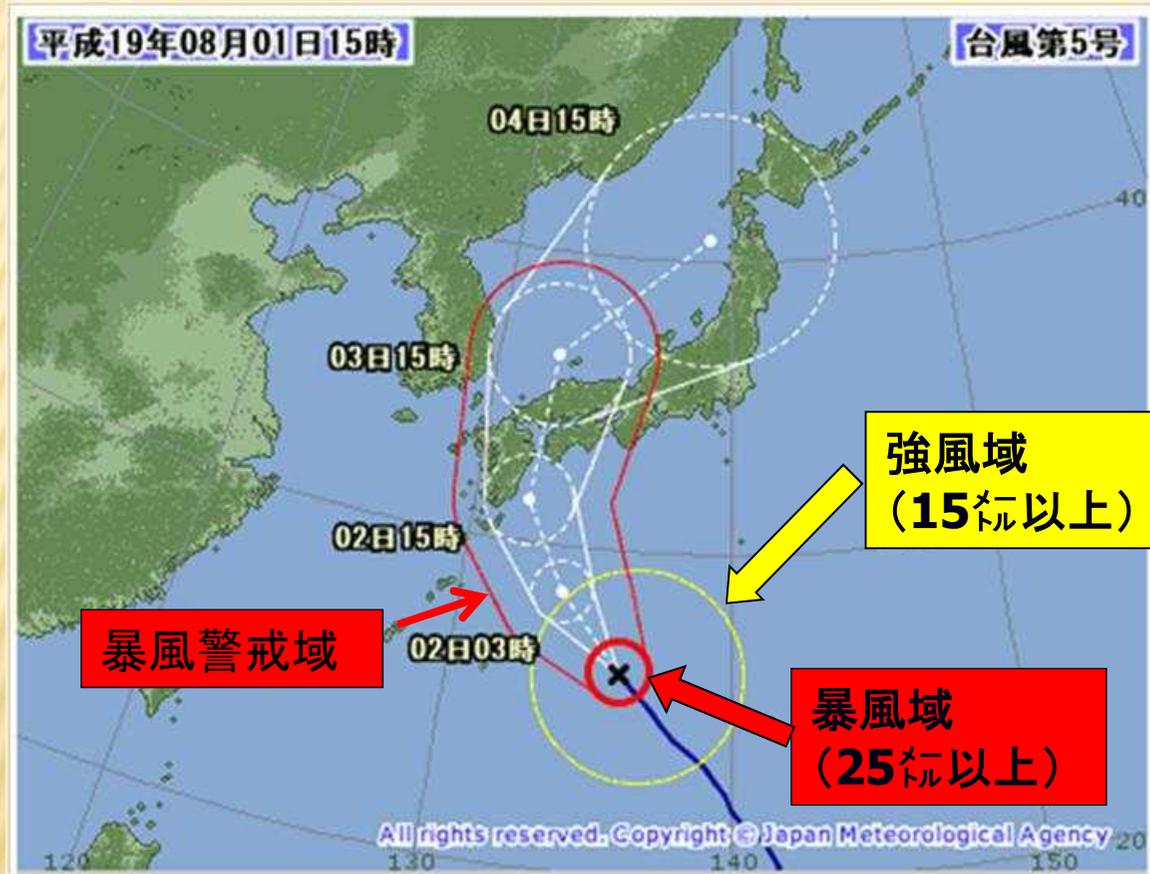
早明浦(さめうら)ダム
(高知県)



上の写真は、平成17年9月の四国・早明浦ダムの写真です。渇水に悩んでいたダムが台風第14号によって、一気に満水になりました。このように、台風がもたらす降水によって、水不足が解消するという側面もあります。

(写真は、国土交通省四国地方整備局ホームページから転載)

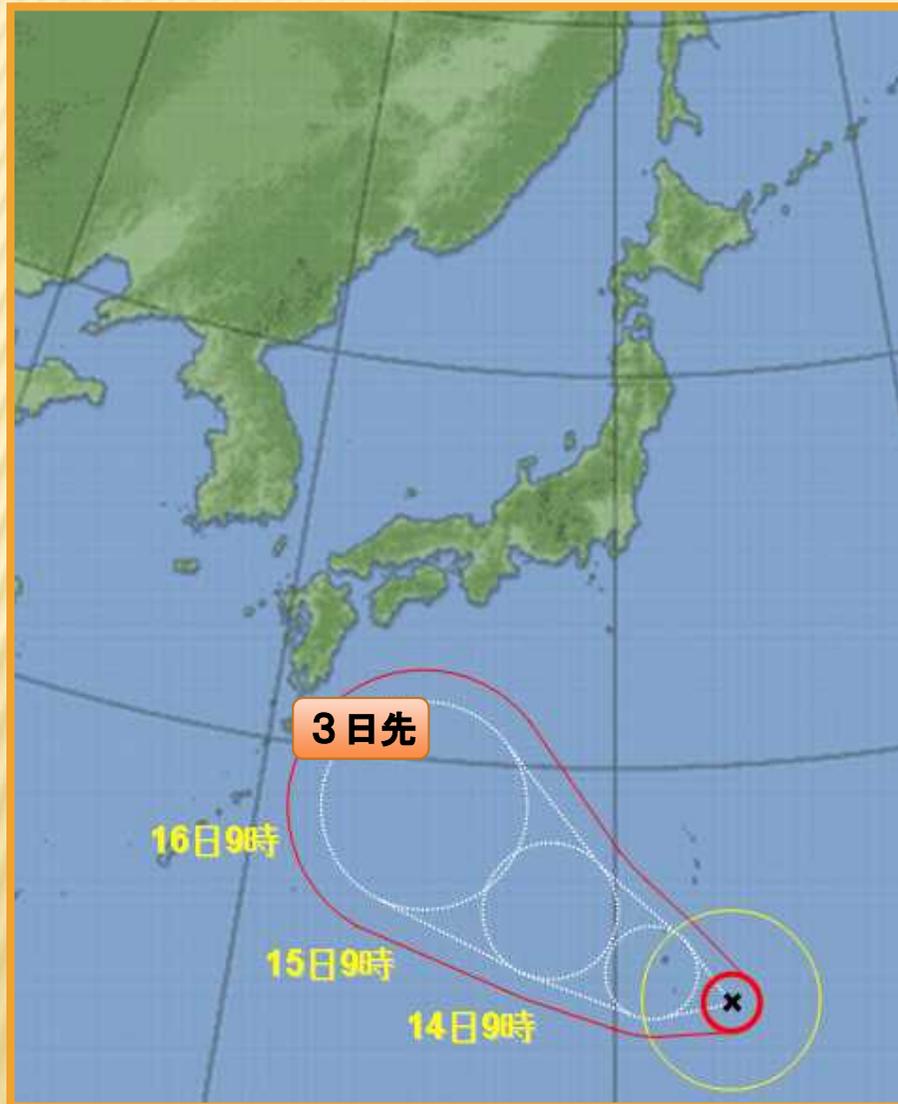
台風の進路予報



予想された台風の位置を、
12時間後 (半日先)
24時間後 (1日先)
48時間後 (2日先)
72時間後 (3日先)
ごとに、白い円で表示しています。
この円を予報円と言います。
(70%の確率)

赤い線で囲んだ範囲は**暴風警戒域**と言います。
台風が中心が予報円内のどこかに進んだときに、72時間先までに、暴風域に入るおそれのある範囲を表します。

5日先の進路予報も利用できます



台風が近づいてきたら・・・

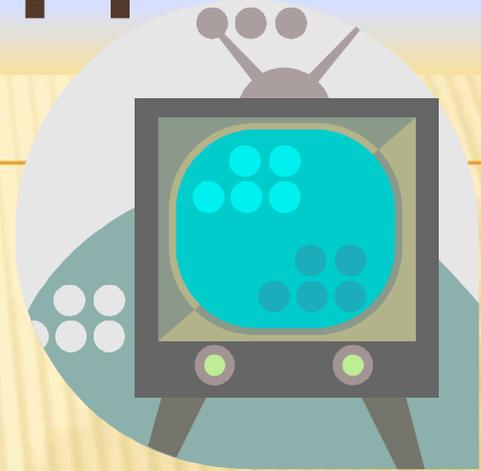
・ 台風が近づいているとき

注意報・警報、台風情報に注意する

・ 台風が近づくと、気象台が発表する注意報・警報、台風情報がテレビ・ラジオで伝えられる。この情報を聞いたら、大雨や暴風になる前に、飛びそうな物はないか等、家の周りの安全を確かめる。

危険な場所に近づかない

- ・ 雨で増水した小川や側溝，水に浸かった道路のマンホールは境目が分からない。大雨のときに、見回りに行っても小川やマンホールに転落する事故が多い。
- ・ 山崩れ、がけ崩れも起こりやすくなるので近づかない。



台風が近づいてきたら・・・

- ・危険が迫ったら・・・まず身の安全を

避難

- ・避難するように呼び掛けられたら、すぐに行動できるよう準備し、家族と相談して早めの避難を心がけてください。(日ごろから、避難場所を決めて、雨や風の弱い時に避難する)
- ・避難をする時は、持ち物は背中に背負うなどして両手が自由に使えるように。
- ・靴は丈夫なものを。長靴は水が入ると歩きにくい。

避難先では

- ・勝手な判断、勝手な行動をとらない。
- ・引き続き、台風情報や注意報・警報に注意する。

おわりに……………

時々、空をながめてみよう
どんな天気の際に、どんな雲が見られるかな……

明日の天気がわかるかも！！！！

